

会 議 録

会議の名称	令和6年度第2回小金井市食育推進会議
事務局	福祉保健部健康課健康係
開催日時 (当初の予定日)	令和6年8月28日(水)午後2時
開催場所	保健センター講堂
出席者	別紙のとおり
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可 ・ <input type="radio"/> 一部不可 ・ <input type="radio"/> 不可
傍聴者数	0人
傍聴不可等の理由等	
会議次第	別紙のとおり
会議結果	
発言内容・ 発言者名(主な発言要旨)	
提出資料	別紙のとおり
その他	

令和6年度第2回食育推進会議次第

日 時 令和6年8月28日（水）

午後2時から

場 所 保健センター 1階大会議室

1 開会

2 議 事

(1) 進捗状況調査について

(2) 学務課・健康課合同事業「親子でクッキング」について

(3) 小金井市食育ホームページについて

3 その他

4 閉会

小金井市食育推進会議委員名簿

令和6年8月28日

No.	選出区分	氏名
●市民（5人）		
1	公募市民	まきの 牧野 まや
2	公募市民	ささべ 雀部 かおり
3	公募市民	おおた あつたね 太田 篤胤
4	公募市民	みけ あきと 三毛 明人
5	公募市民	よこやま えりこ 横山 英吏子
●学識経験者（2人）		
6	実践女子大学生生活科学部食生活科学科准教授	やまぎし ひろみ 山岸 博美
7	野菜料理研究家	まつしま 松嶋 あおい
●関係機関の役員又は職員（7人）		
8	小金井市立小金井第二中学校栄養士	はせがわ いくこ 長谷川 郁子
9	小金井市立小中学校PTA連合会	きたわき りえ 北脇 理恵
10	小金井市社会福祉協議会	いのうえ まさこ 井上 正子
11	東京都小金井歯科医師会	はっとり さとし 服部 聡
12	小金井市農業振興連合会	たかはし けんたろう 高橋 健太郎
13	東京むさし農業協同組合小金井支店	おおいし かずたか 大石 和孝
14	小金井市商工会	ふじさわ ひろし 藤澤 弘
●関係行政機関の職員（1人）		
15	東京都多摩府中保健所	やまだ さつき 山田 五月
●市の職員		
16	小金井市福祉保健部長	おおさわ ひでのり 大澤 秀典

小金井市食育推進計画進捗状況報告（令和5年度実施分）

※1 自己評価（対前年進捗度）について
 A=充実・強化（事業を新たに実施した。または充実した。）
 B=前年度同様（前年度と同様の内容で実施した。）
 C=縮小
 D=未着手（該当事業に取り組みなかった。）

※2 効果があったと思われる食育の視点（該当するものに「○」を付けてください。複数回答可）
 ①食育という言葉や意味を知っている
 ②毎日きちんと朝食を食べる食生活の啓発
 ③家族・友人等と一緒に食事をする意識の育成・啓発
 ④バランスのとれた食事をする等栄養バランスを意識した食生活の啓発
 ⑤野菜は一日350g摂取を目標とする
 ⑥地場野菜の普及等、地産地消の食生活の啓発・食文化の伝承
 ⑦食品ロスの軽減等環境に配慮した食生活の啓発

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和4年度進捗状況			令和5年度進捗状況			効果があったと思われる食育の視点 ※2							担当課											
					令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み 及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦												
4 具体的な施策の展開																													
“Koganei-Style”の地域展開																													
①啓発活動の充実																													
			食育月間・食育の日の取組	<p>●食育行事として、歯科医師会主催の「歯と口の健康」イベントにおいて、下記の取組を実施(場所:保健センター) 食育コーナーでは、各種食育展示や食育クイズを実施した。また歯とロクイズの答えを展示物の中に2つ入れた。 ・野菜120g生・加熱の展示(使い捨て手袋の両手に生、片手に加熱の野菜を乗せて展示) 一人が1回の食事に食べたい野菜の量 ・生野菜サラダ30gと50g ・ペットボトル飲料に含まれる砂糖量モデル ・加工食品に含まれる塩分量 ・食育クイズ(食育財団編集委員会提供) ・野菜の花の写真を用いて、何の野菜の花かあてる。 参加人数:314人(大人167人、子ども147人) ●食育の日の取組として毎月19日に乳幼児へ食育に関する記事を配信した。 配信者数:1447名</p>	<p>絵のコンクール入賞作品が展示されたため、家族連れが多かった。会場が保健センターのため、展示スペースを広くとれた。今後食育月間では、保健センター内で掲示等も行いたい。</p>	B	<p>●食育行事として、歯科医師会主催の「歯と口の健康」イベントにおいて、第4次食育計画のちらしを374枚配布した。 ●食育行事として、栄養室前にペットボトル飲料に含まれる砂糖量モデルを掲示</p>	<p>歯と口の健康では、展示会場と口腔がん検診会場の2か所での配布だったので多くの方に配布することができた。食育月間の保健センター内での展示は今後も続けていきたい。</p>	B	○				○	○				健康課										
			食育月間(6月)及び食育の日(毎月19日)に因み、食育に関するイベント等を行い、市報・市HP・市立保育園、小中学校等で食育の啓発活動を行う。	<p>小金井市立小中学校全校での食育の日の取組 ① 毎月11日は「お箸の日」箸を使ったメニューを提供し、マナーや持ち方等学ぶ機会を作っている。 ② 毎月24日は「小金井和食の日」和食献立を提供し、和食を広めるとともに和食について学ぶ機会を作っている ③ 小金井市の農家で作られている「ルバーブ」が旬を迎えるためルバーブを使用した献立を取り入れた。 手作りルバーブジャム・ルバーブといちごのジャム・ルバーブとブルーベリーのジャム・ルバーブマドレーヌ・ルバーブといちごのマドレーヌ・ルバーブチキン・鶏のからあげルバーブソース・ルバーブとクリームチーズのバリバリ揚げ・ルバーブクランブル・ルバーブチーズケーキ・ルバーブマフィン・ルバーブとブルーベリーのマフィン・鶏肉のルバーブソース焼き 小金井市立小中学校各校での食育月間の取組 ① 地場野菜を使ったメニューの提供 ルバーブ・小松菜・きゅうり・玉ねぎ・大根・トマト・なす・人参・にんにく・じゃがいも・こまつな・キャベツ・いんげん・とうもろこし ② 季節・行事にちなんだ料理の提供、読書週間・歯と口の健康週間・図書コラ給食・郷土料理</p>	<p>今後も継続していく。</p>	A	<p>●食育の日の取組として毎月19日に乳幼児へ食育に関する記事を配信した。 配信者数:1397名</p>	<p>令和6年度より管轄がこども家庭センター母子保健係になる。</p>	B	○	○	○	○	○	○	○		こども家庭センター母子保健係											
		1		<p>小金井市立小中学校各校での食育月間の取組 ① 地場野菜を使ったメニューの提供 ルバーブ・小松菜・きゅうり・玉ねぎ・大根・トマト・なす・人参・にんにく・じゃがいも・こまつな・キャベツ・いんげん・とうもろこし ② 季節・行事にちなんだ料理の提供、読書週間・歯と口の健康週間・図書コラ給食・郷土料理</p>	<p>今後も継続していく。</p>	A	<p>●食育の日の取組として毎月19日に乳幼児へ食育に関する記事を配信した。 配信者数:1397名</p>	<p>令和6年度より管轄がこども家庭センター母子保健係になる。</p>	B	○	○	○	○	○	○	○		学務課											

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和4年度進捗状況			令和5年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課	
					令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み 及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
1	34	1	食育月間・食育の日の取組	食育月間（6月）及び食育の日（毎月19日）に因み、食育に関するイベント等を行い、市報・市HP・学校等で食育の啓発活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> けやき保育園 <ul style="list-style-type: none"> ・じゃが芋掘り <ul style="list-style-type: none"> 目的 土に親しみ、じゃが芋に興味を持つ、収穫する喜びを味わう 掘ってきた芋を翌日のおやつにゆでじゃがとして提供、自分たちで収穫したじゃが芋が料理され、食べ物に興味を持つ ・年長児に向けて包丁、ピーラー指導（動画） <ul style="list-style-type: none"> 目的 わくわく会に向け、安全な包丁、ピーラーの使い方を知る 調理することに興味を持つ ・新メニューの開発と試作 ・豚汁クッキング <ul style="list-style-type: none"> 目的 お泊り会に向けて、包丁、ピーラーを使用する みんなで食べる料理を自分達で作る事により自信に繋げていく 食材や調理過程に興味を持つ ・小金井特産のルバーブを使用したおやつを提供、ルバーブを実際触ってみる実物を見る 目的 小金井市の地場野菜を知る、食材に興味を持つ ・九条ネギを幼児クラスに見せて話をした 目的 食材を知る ・あじさいゼリー、冬瓜スープの提供 <ul style="list-style-type: none"> 目的 旬の食材に触れる ・給食室で育てた野菜の集会（枝豆、オクラ） <ul style="list-style-type: none"> 目的 食材ができる過程を学ぶ、収穫する喜びを味わう ・0歳児クラス懇談会時に離乳食のサンプルを展示する 目的 保護者に保育園での食事を知ってもらう 目的 保護者に保育園での食事を知ってもらう 	今後も継続していく。	B	<ul style="list-style-type: none"> けやき保育園 <ul style="list-style-type: none"> ・じゃが芋掘り <ul style="list-style-type: none"> 目的 土に親しみ、じゃが芋に興味を持つ、収穫する喜びを味わう 掘ってきた芋を翌日のおやつにゆでじゃがとして提供、自分たちで収穫したじゃが芋が料理され、食べ物に興味を持つ ・年長児に向けて包丁、ピーラー指導（動画） <ul style="list-style-type: none"> 目的 わくわく会に向け、安全な包丁、ピーラーの使い方を知る 調理することに興味を持つ ・新メニューの開発と試作 ・豚汁クッキング <ul style="list-style-type: none"> 目的 わくわく会に向けて、包丁、ピーラーを使用する みんなで食べる料理を自分達で作る事により自信に繋げていく 食材や調理過程に興味を持つ ・小金井特産のルバーブを使用したおやつを提供、ルバーブを実際触ってみる実物を見る 目的 小金井市の地場野菜を知る、食材に興味を持つ ・あじさいゼリー、冬瓜スープの提供 <ul style="list-style-type: none"> 目的 旬の食材に触れる ・給食室で育てた野菜の収穫 <ul style="list-style-type: none"> 目的 食材ができる過程を学ぶ、収穫する喜びを味わう ・0歳児クラス懇談会時に離乳食のサンプルを展示する 目的 保護者に保育園での食事を知ってもらう 目的 よく噛むことにより喉乾がたくさんで虫歯の予防につながることを知る ・給食室職員の顔写真付きレシピを掲示する 目的 給食室の職員を保護者や子どもにも知ってもらう。自宅でのメニューの参考にってもらう 	今後も継続していく。	B	○	○	○	○	○	○	○	○	
				<ul style="list-style-type: none"> くりのみ保育園 <ul style="list-style-type: none"> ◎0歳クラス <ul style="list-style-type: none"> ・離乳食サンプルを掲示し、形態や食具を見てもらう。 ◎季節の食材及びメニューの提供 <ul style="list-style-type: none"> ・季節の食材を使用した献立や季節に因んだメニューの提供。 ・季節の食材の実物を見る、触ってみる等食体験を行う。（空豆の芋むき体験等） ・夏野菜の栽培・収穫体験。給食に入れて提供。（ピーマン・ナス・トマト・じゃが芋・パジル・シソ等） ・給食レシピを写真付きで掲示した保護者への情報提供。 			<ul style="list-style-type: none"> さくら保育園 <ul style="list-style-type: none"> ・日頃から給食食材を納品してもらっている業者さんの顔写真を撮り、小金井市の地図のお店のある場所に顔写真と業者さんの特技などを書いたものを、園児や送迎の保護者のも見てもらうように、給食室前に掲示している。 ・給食で提供したレシピを写真で紹介、保護者が家庭で作ることができるように持ち帰り用のレシピを用意した。 ・行事食や子どもたちへの食材紹介に合わせて、行事の由来や食材紹介を保護者向けにも玄関にPOP展示を行った。 ・旬野菜を使った献立や行事食を提供した。（グリーンピースご飯、鯉のぼりクッキー、あじさいゼリー、星の子スープ、十五夜でウサギ型の芋ようかん、七草が粥、鬼つくだりカレー、恵方巻にちなんだ細巻、お祭りメニュー、ハロウィンメニュー、クリスマスメニュー、年長児のリクエストメニュー） ・ジャガイモ掘り（幼児クラス）・サツマイモ掘り（年長児）を行い、自分たちで収穫したものを焼いてクッキング（豚汁・サツマイモドーナツ）を行い、食べる経験をした。 ・年長児が野菜を育てて、収穫した野菜を給食で食べた。 ・クッキングは、幼児クラスが年齢別やクラス別で行った。年長児のパン作りでは生地作りから行い、発酵の過程なども子どもたちが見ることができた。（その他、餃子バイ・クッキー・ピザ） ・幼児クラスにて旬の食材等の紹介や皮むき、魚（鯛）の解体教室を行った。 （九条ネギ、冬瓜、ズッキーニ、大玉スイカ、キノコ類、栗、乾物類、七草等の紹介、メロン、梨、りんご、洋ナシ、柿等の皮むき） 	今後も継続していく。		<ul style="list-style-type: none"> さくら保育園 <ul style="list-style-type: none"> ・日頃から給食食材を納品してもらっている業者さんの顔写真を撮り、小金井市の地図のお店のある場所に顔写真と業者さんの特技などを書いたものを、園児や送迎の保護者のも見てもらうように、給食室前に掲示している。 ・給食で提供したレシピを写真で紹介、保護者が家庭で作ることができるように持ち帰り用のレシピを用意した。 ・行事食や子どもたちへの食材紹介に合わせて、行事の由来や食材紹介を保護者向けにも玄関にPOP展示を行った。 ・旬野菜を使った献立や行事食を提供した。（グリーンピースご飯、鯉のぼりクッキー、あじさいゼリー、星の子スープ、十五夜でウサギ型の芋ようかん、七草が粥、鬼つくだりカレー、恵方巻にちなんだ細巻、お祭りメニュー、ハロウィンメニュー、クリスマスメニュー、年長児のリクエストメニュー） ・ジャガイモ掘り（幼児クラス）・サツマイモ掘り（年長児）を行い、自分たちで収穫したものを焼いてクッキング（豚汁・いがり坊や）を行い、食べる経験をした。 ・年長児が野菜を育てて、収穫した野菜を給食で食べた。 ・クッキングは、幼児クラスが年齢別やクラス別で行った。（餃子バイ・クッキー・ピザ） ・幼児クラスにて旬の食材等の紹介や皮むき、魚（鯛・鮭・金目鯛）の解体教室を行った。 （冬瓜、ズッキーニ、大玉スイカ、キノコ類、栗、乾物類、七草等の紹介、メロン、梨、りんご、洋ナシ、柿等の皮むき） 	今後も継続していく。		○	○	○	○	○	○	○

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和4年度進捗状況			令和5年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課		
					令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み 及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦			
1	34	1	食育月間・食育の日の取組	<p>食育月間（6月）及び食育の日（毎月19日）に因み、食育に関するイベント等を行い、市報・市HP・学校等で食育の啓発活動を行う。</p> <p>わかたけ保育園 ○季節の食材を使った給食の提供 ○子どもたちの前で料理の最後の仕上げをする。（お好み焼きのトッピングをする、ハンバーガーのソースを添えてもらいその場でゆるなど） ○5歳児に向けて包丁・ピーラー指導 ○5歳児クッキング（マヨネーズトースト、きりたんぼ汁、豚汁、カレーライス） ○4歳児クッキング（スコーン、きりたんぼ汁） ○行事食の提供（七夕：星の子スープ、1月7日：七草がゆ、節分：大豆とじゃこのごはん・めざしのから揚げなど、ひなまつり：春を意識した献立） ○子どもたちの喜ぶ獲りをしたカレーライス（星形、クマ型など） ○魚の解体教室をし命を頂くことに触れる ○野菜を育てる、収穫した野菜を給食で食べる</p> <p>小金井保育園 ・近隣の畑にてじゃが芋掘り体験をした（幼児） ・幼児クラスの子どもたちで豚汁づくりをして、食べた（年齢に応じて、食材ちぎり・皮むき・包丁を用いて食材切り）</p>	<p>今後も継続していく。</p>	B	<p>わかたけ保育園 ○季節の食材を使った給食の提供 ○子どもたちの前で料理の最後の仕上げをする。（お好み焼きのトッピングをする、ハンバーガーのソースを添えてもらいその場でゆるなど、ブロッコリーおなかあえのおかかか混ぜるなど） ○5歳児に向けて包丁・ピーラー指導 ○5歳児クッキング（だまこ汁、豚汁、カレーライス、さつまい汁） ○4歳児クッキング（クッキー、だまこ汁、マヨネーズカレートースト） ○行事食の提供（七夕：星の子スープ、1月7日：七草がゆ、節分：大豆とツナのごはん・めざしのから揚げなど、ひなまつり：春を意識した献立） ○子どもたちの喜ぶ獲りをしたカレーライス（星形、クマ型など） ○魚の解体教室をし命を頂くことに触れる ○野菜を育てる、収穫した野菜を給食で食べる ○野菜を育て、大きさを重さをはかる。干して状態が変わっていく様を観察したり、触れてみる体験をする（大根 → 切干大根など） ○普段目にしない野菜を見、触る機会をつくる（丸ごとの冬瓜など）</p> <p>小金井保育園 ・近隣の畑にてじゃが芋掘り体験をした（幼児） ・幼児クラスの子どもたちで豚汁づくりをして、食べた（年齢に応じて、食材ちぎり・皮むき・包丁を用いて食材切り）</p>	<p>今後も継続していく。</p>	B											
2	34	2	小金井らしい食生活の推進	<p>乳幼児から高齢者までを対象にした講座の開催等を通じて、野菜を中心とした栄養バランスの良い食生活を推進する。</p> <p>離乳食教室（348名）、栄養講習会（40人）、フォローアップ教室（58人）等でバランスのよい食生活の啓発を行った。講義とデモンストレーション、見本で実施。離乳食は昨年同様だが、他の事業は、参加者が少し増えてきた。</p>	<p>令和4年度は予定された事業は全て実施。離乳食教室は必要性が高いため、今後も継続し、RSは完了食を実施する予定である。栄養講習会も継続。</p>	B	<p>栄養講習会（42人）、フォローアップ教室（59人）等でバランスのよい食生活の啓発を行った。講義、デモンストレーション、質疑応答と6月以降は、試食も行った。</p> <p>令和5年度は栄養講習会は、講義、デモンストレーション、質疑応答と6月以降は、試食や実習を再開。6回のうち1回は、申込が少なかつたうえ、全員感染症でお休みしたため、当日中止となり、実施は5回のみ。</p>	<p>令和5年度は栄養講習会は、講義、デモンストレーション、質疑応答と6月以降は、試食や実習を再開。6回のうち1回は、申込が少なかつたうえ、全員感染症でお休みしたため、当日中止となり、実施は5回のみ。</p>	B		○	○	○	○	○	○	○	○		健康課
						B	<p>離乳食教室（417名）等でバランスのよい食生活の啓発を行った。講義、デモンストレーション、質疑応答と6月以降は、試食も行った。</p> <p>令和5年度は予定された事業は全て実施。令和5年度から離乳食完了食を開始した。令和6年度より1回食は乳児健診の集団教育のほうで実施する予定である。令和6年度より管轄がこども家庭センター母子保健係になる。</p>	<p>令和5年度は予定された事業は全て実施。令和5年度から離乳食完了食を開始した。令和6年度より1回食は乳児健診の集団教育のほうで実施する予定である。令和6年度より管轄がこども家庭センター母子保健係になる。</p>	B		○	○	○	○	○	○	○	○		こども家庭センター母子保健係

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和4年度進捗状況			令和5年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課		
					令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み 及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦			
3	34	3	農業祭等での啓発活動	農業祭等で食育に関するブースを作る等、啓発活動を行う。	<p>■農・商工・観光が一体となったイベント「こがねい産業まつり」を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、「こがねい産業応援まつり」として、農業部門は11月、商工部門は3月に分散して開催した。</p> <p>■農業祭 開催日：令和4年11月12日、13日 会場：小金井 宮地楽器ホール他 出品数：831点（令和元年度1,271点）</p> <p>■農業絵画コンクール 出品数：277点（前年度221点） 入賞数：31点 表彰式：令和4年11月12日 ■食育カレンダーの作成 作成数：900部 配布先：入賞者、市内公立小学校等</p>	<p>■農業祭 既存の農業祭の会場に駅前再開発によりできたスペースを加えたエリアを活用し、商工会や観光まちおこし協会と連携して農・商業・観光一体となったイベントを開催する。</p> <p>■農業絵画コンクール 令和4年度は、より多くの作品を集めるため、市内公立小学校の図工科の先生に絵画コンクールの取組みを案内した。令和5年度も引き続き案内する。</p> <p>■食育カレンダー 絵画コンクールの入賞作品と食育HPに掲載されているレシピを掲載し、食育カレンダーを作成してきた。令和5年度は7回目（絵画コンクールは9回目）となるが、食育HP編集委員会の協力いただき、地産産野菜の旬のレシピを掲載できるよう取組んでいく。</p>	A	<p>農・商工・観光が一体となったイベント「こがねい産業まつり」を開催した。</p> <p>■農業祭 開催日：令和5年11月11日、12日 会場：小金井 宮地楽器ホール他 出品数：936点（令和4年度872点）</p> <p>■農業絵画コンクール 出品数：222点（前年度277点） 入賞数：31点 表彰式：令和5年11月11日 ■食育カレンダーの作成 作成数：900部 配布先：入賞者、市内公立小学校等</p>	<p>■農業祭 農・商工・観光が一体となったイベント「こがねい産業まつり」を初めて開催することができた。引き続き既存の農業祭の会場に駅前再開発によりできたスペースを加えたエリアを活用し、商工会や観光まちおこし協会と連携して農・商業・観光一体でイベントを開催していく。</p> <p>■農業絵画コンクール 令和5年度においても、より多くの作品を集めるため、市内公立小学校の図工科の先生に絵画コンクールの取組みを案内した。令和6年度も引き続き案内する。</p> <p>■食育カレンダー 絵画コンクールの入賞作品と食育HPに掲載されているレシピを掲載し、食育カレンダーを作成してきた。令和6年度は8回目（絵画コンクールは10回目）となるが、食育HP編集委員会の協力いただき、地産産野菜の旬のレシピを掲載できるよう取組んでいく。</p>	A										経済課
					・令和4年11月12日（土）農業祭にて第4次食育推進計画のちらし、食育HPのちらし、てくてくマップを500部配布した。	今後も継続したい。	B	・令和5年11月11日（土）農業祭にて第4次食育推進計画のちらし、食育HPのちらし、てくてくマップを400部配布した。	今後も継続したい。	B	○	○	○	○	○	○	○	健康課		
4		4	資源循環（エコベータブル）教室の推進	土作り、種まき、野菜の収穫、野菜くずを出さない環境に配慮した料理までの一連の流れを実際に体験し、循環型社会について学ぶ。	1回目 夏野菜の収穫体験・土づくり、2回目 種まき、3回目 収穫かぶ・小松菜・ミニ大根・大蔵大根・ジャガイモ 1回目 8/26 参加者15名 2回目 9/16 参加者11名 3回目 11/25 参加者14名	新型コロナウイルス感染症予防の観点から、エコクッキングは実施しなかったものの、代替として夏野菜の収穫体験を実施した。感染症対策の動向を注視しつつ事業を充実させる方策を検討していく。	B	1回目 9/12 参加者5名 夏野菜の収穫体験・土作り 2回目 9/21 参加者3名 種まき 3回目 11/16 参加者7名 収穫(小松菜・かぶ・サンチュ)	夏野菜の収穫体験と土づくりから野菜の収穫までを行った。収穫した野菜一つ一つについて、簡単に無駄の出ない調理法を説明し、食資源についての学習機会を取った。一定期間が必要な事業であるため、植え付けや収穫が早い時期と重なり、熱中症対策を検討する必要がある。	B	○					○	○	ごみ対策課		
5		5	夏休み生ごみ投入リサイクル事業	夏休み期間中、家庭から出た生ごみを小中学校に設置されたごみ処理機に投入することができる。希望者にはリサイクル堆肥を配布する。	実施校 9校 (一小、三小、四小、前原小、緑小、南小、一中、二中、南中)	ボランティアの高齢化等により事業全体が縮小傾向にある。今後、運営方法や事業規模について関係者等と調整する必要がある。	B	実施校 8校 (一小、四小、前原小、緑小、南小、一中、二中、南中)	ボランティアの高齢化及び生ごみの資源化ルーの見直し検討に伴い、今後の運営方法や事業規模について関係者等と調整する必要がある。	B								○	ごみ対策課	
6		6	食品リサイクル堆肥	市立小中学校・保育園、障がい者センター、集合住宅に設置した大型生ごみ処理機及び各家庭で使用している生ごみ処理機から生成される生ごみ乾燥物を回収し、食品リサイクル堆肥を製造、市民及び市内農家等に配布する。	市施設、市民、戸別・拠点、集合住宅の投入量合計（生ごみ換算） 244.048kg 市民・農家への堆肥配布（随時）及び資源循環事業での使用（収穫体験計6回、資源循環教室：全3回）	市民向けの収穫体験では、資源循環の説明を併せてすることで、ごみの減量及び資源循環の理解が深まった。生ごみ処理機を利用されている方向けの収穫体験では、普段からごみ減量への意識が高く、収穫物の食べ方紹介では大根の葉を使用したレシピ等にも興味を持ってもらい、資源循環の大切さに加え、ごみの発生抑制の重要性の周知も図ることができた。	B	市施設、市民、戸別・拠点、集合住宅の投入量合計（生ごみ換算） 235.510kg 市民・農家への堆肥配布（随時）及び資源循環事業での使用（収穫体験計5回、資源循環教室：全3回）	食品リサイクル堆肥を市民と市内農家に配布し、それを活用することで食資源の循環を体験してもらった。また、市民や大型生ごみ処理機の利用者に向けた収穫体験や資源循環教室で食品リサイクル堆肥を活用し、ごみの減量や食資源への理解を深めた。	B								○	ごみ対策課	

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和4年度進捗状況			令和5年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課	
					令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み 及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
7	34	7	フードドライブ	家庭で余っている食品を拠点回収し、NPO団体及び社会福祉協議会を通じ、福祉施設等に届けるとともに、食品ロスを削減する。	実施回数:12回 参加人数:延べ283人 食品回収量:1659.59キロ	回収した食品は生活困窮者世帯や子ども食堂などに届けられるよう社会福祉協議会に引き渡し、市内循環を図っている。今後も利用者拡大を目指し周知啓発に努め継続実施していく。	B	実施回:12回 参加人数:延べ203人 食品回収量:892.17kg	回収した食品は生活困窮者世帯や子ども食堂などに届けられるよう社会福祉協議会に引き渡し、市内循環を図っている。今後も利用者拡大を目指し周知啓発に努め継続実施していく。	B								○	ごみ対策課
8		8	食品ロス削減推進協力店・事業所認定制度	食品ロスと食べ残しの削減に積極的に取り組んでいる飲食店等を食品ロス削減推進協力店(または協力事業所)として認定し、市民に制度について周知することで、食品ロス削減の重要性についての理解と関心を深め、市民・事業者・行政が連携協力をして食品ロスの削減に向けた取組を促進する。	認定店16件	食品ロスマッチングサービスへの登録を認定要件として整理する等、認定店(認定事業所)においてもより多くのメリットを実感でき、かつ、市民への効果的な意識啓発が図られるよう、市民・事業者・行政の連携を深める方策を検討する。	B	認定店23件	昨年よりも7件増の23件となり、市内飲食店にも少しずつ食品ロス削減推進への協力体制が整い始めているように感じている。残りの課題は、小金井カメすけへの出品が依然として少ないため、店舗側への出品促進も促していきたい。	B								○	ごみ対策課
9		9	食品ロス削減月間の取組	食品ロス削減月間(10月)に、日常生活の中で無理なく実践できる食品ロスの削減に向けた取組の一つとして「すぐに食べる物を購入する場合は、手前に置いてあるもの(期限が近い物)から取ることを消費者である市民に促したり、ポスターの掲示などを行い、食品ロスを削減すると同時に食品ロスは身近で発生しているということを意識づけ、食資源を大切にすることを啓発する。	市内セブンイレブン全店への手前どりPOPの掲出 2回	今後は、セブンイレブンや協力店以外の店舗にも食資源を大切にするための啓発に協力いただけるよう広めていきたい。	B	市内セブンイレブン全店への手前どりPOPの掲出 1回(6月の環境月間に開催)	POPの掲示場所が冷蔵コーナーであることから、令和5年度は6月の環境月間にラミネート加工したPOPを配布したところ、6月以降も活用していただけた。令和6年度は別デザインのPOPも改めて作製し、6月の環境月間と10月の食品ロス削減月間でそれぞれ活用していただけるようにしたい。	B								○	ごみ対策課

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和4年度進捗状況			令和5年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課		
					令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み 及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦			
“Koganei-Style” の地域展開													②情報の整備							
10	35	1	食育市民アンケート調査	市民の食育の実態を把握するため、本計画終了前年度にアンケート調査を実施する。	市民アンケート調査は策定の前年に行うため、実施なし		次回アンケートは令和7年度に実施する予定。近くなったらアンケート項目などを指標と合わせていきたい。	市民アンケート調査は策定の前年に行うため、実施なし	次回アンケートは令和7年度に実施する予定。近くなったらアンケート項目などを指標と合わせていきたい。		○	○	○	○	○	○	○	健康課		
11	35	2	食育ホームページ	市民ボランティアによる編集委員会を開催し、地域の食育及び食生活に関する情報を幅広く提供する。	市内小中学校との相互リンク済数 小学校9校 中学校4校 HPの新ちらしやレシピの追加を掲載。健康課では、新規の記事をできる範囲でツイッターに掲載。さらに多くの市民の方に周知するため、健康課窓口及び健康課事業、成人式に加え、公民館5館、経済課窓口、小金井市観光まちおこし協会（駅敷地内等）等で食育HPのちらしを配布した。また新たに食育HP委員の募集を行い、3名の方が編集委員に加わった。会議は、webと保健センターで行われた。	A	食育ホームページ編集委員会と協力し、市内の食育活動を中心に情報提供を継続して行う。	市内小中学校との相互リンク済数 小学校9校 中学校4校 HPの新ちらしやレシピの追加を掲載。新たに食品クイズを掲載。健康課では、新規の記事をできる範囲でツイッターに掲載。さらに多くの市民の方に周知するため、健康課事業、成人式に加え、公民館5館、経済課窓口、JA、都民農園、小金井市観光まちおこし協会（駅敷地内等）等で食育HPのちらしを配布した。会議は、webと保健センターで行われた。	食育ホームページ編集委員会と協力し、市内の食育活動を中心に情報提供を継続して行う。	A	○	○	○	○	○	○	○	健康課		
12	35	3	食育ホームページ	関係各課の食育に関する事業を紹介する。	市報に掲載する食育事業や、各児童館の食育イベントを紹介した。	A	今後も市報や市ホームページと同様に事業の掲載を継続したい。	市報に掲載する食育事業や、各児童館の食育イベントを紹介した。	今後も市報や市ホームページと同様に事業の掲載を継続したい。	A	○	○	○	○	○	○	○	健康課		
13	35	4	地場野菜等の情報提供	地場野菜等の種類・発売時期・発売場所等の情報を食育ホームページ等で提供する。	■庭先直売所マップ 庭先直売所マップ配布・ホームページ掲載 配布先：生産者、J A、経済課窓口他 市報6月1日号に掲載 食育HPに地図のみ掲載 経済課窓口にて設置・配布 わたしの便利帳に掲載	B	市報等への掲載及び令和3年度に作成した庭先直売所マップ（冊子）の配布及びホームページへの掲載により広く市民への周知に努めた。 令和5年度以降についても、庭先販売所の情報を収集しながら、市報・HP等への掲載を継続していく。	■庭先直売所マップ 庭先直売所マップホームページ掲載 市報6月1日号に掲載 食育HPに地図のみ掲載 わたしの便利帳に掲載	市報等への掲載及び令和3年度に作成した庭先直売所マップのホームページへの掲載により広く市民への周知に努めた。 令和6年度以降についても、庭先販売所の情報を収集しながら、市報・HP等への掲載を継続していく。	B							○	経済課		
				季節に応じて収穫できる野菜の紹介やその野菜を使用したレシピの記事を追加した。また、経済課の庭先販売所マップや農業カレンダーの編集にも協力した。加えて健康課では庭先販売所マップ1250部を第4次食育推進計画の配布先への同封、離乳食教室等の事業や「歯と口の健康」での配布、健康課窓口にも置いたが、令和4年度中にほぼ配布が終了した。	季節に応じて収穫できる野菜の紹介やその野菜を使用したレシピの記事を追加した。また、経済課の農業カレンダーの編集にも協力した。	A	関係機関と連携を図りながら、充実した情報提供の場となるよう継続して実施する。	季節に応じて収穫できる野菜の紹介やその野菜を使用したレシピの記事を追加した。また、経済課の農業カレンダーの編集にも協力した。	関係機関と連携を図りながら、充実した情報提供の場となるよう継続して実施する。	A							○	○	健康課	

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和4年度進捗状況			令和5年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み 及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
“Koganei-Style”の地域展開 ③各種団体等の食育推進に対する促進策																		
14	35	1	食育ホームページの活用	各種食育活動や食育コーディネーター実績の紹介等、情報発信を行う。	小金井市食育ホームページ内で地域の食育活動や野菜のレシピ(食べ方がわかりづらい珍しい野菜も含む)の紹介等、食に関する情報を掲載している。また、レシピに新たに栄養量も追加した。	A	多くの方に、小金井市食育ホームページで認知してもらえる様、チラシも健康課だけではなく、市内数か所に置いてもらい、周知していくとともに、さまざまな視点で「食」について伝えられるよう、引き続き充実を図る。	小金井市食育ホームページ内で地域の食育活動や野菜のレシピ(食べ方がわかりづらい珍しい野菜も含む)の紹介等、食に関する情報を掲載している。令和5年度より栄養量も掲載。	多くの方に、小金井市食育ホームページを認知してもらえる様、チラシも健康課での配布だけではなく、市内数か所に置いてもらい、周知していくとともに、さまざまな視点で「食」について伝えられるよう、引き続き充実を図る。	A	○	○	○	○	○	○	健康課	
15	35	2	食育関連の人材の活用	市内の食育関連の人材を活用して市民協働による食育の推進を行い、関係機関の連携を図る。	農業カレンダーの記事について協力をいたして市民協働による食育の推進を行い、関係機関の連携を図る。	A	今後も、市民ボランティアの方々と協働して食育推進を図れるよう引き続き努めていく	農業カレンダーの記事について協力をいただいた。	今後も、市民ボランティアの方々と協働して食育推進を図れるよう引き続き努めていく	A	○	○	○	○	○	○	健康課	
16	35	3	親子農業体験の促進	生産体験の機会促進に向け、農業経営者クラブが実施する「親子農業体験」の周知を図る。	■親子収穫体験(ダイコンの収穫体験) 対象:親子 参加数:20組(65人)参加 園場:東町の畑	A	ダイコンの収穫体験及び収穫したダイコン等を使ったスープの試食など、親子で農業に親しんでいただけの機会を提供できた。令和5年度以降も継続して実施していく。	■親子収穫体験(キャベツとブロッコリーの収穫体験) 対象:親子 参加数:17組(53人)参加 園場:開野町の畑	キャベツとブロッコリーの収穫体験を通じて、親子で農業に親しんでいただけの機会を提供できた。令和6年度以降も継続して実施していく。	B						○	経済課	
17	35	4	学童収穫体験の促進	生産体験の機会促進に向け、農業振興連合会が実施する「学童収穫体験」への支援を行う。	ジャガイモ等の学童収穫体験 対象:市内公立小学校9校 もしくは教室 期 間:令和4年6月から11月まで 参加数:1,915人 猛暑及び雨天により収穫体験を中止とした学校があったが、中止となった学校へは、児童数分の収穫品を届けることで、地場産野菜を味わい、身近な農への関心を高める機会とした。	B	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、極力生徒が密集しないよう学年・クラスを分散させる方法や生徒同士の間隔を開ける等の対応により開催してきた。そのため、通常より時間を要し、農家による説明も複数回に渡る等、協力農家への負担が増えた。	■ジャガイモ等の学童収穫体験 対象:市内公立小学校9校 もしくは教室 期 間:令和5年6月から11月まで 参加数:1,822人	新型コロナウイルス感染症感染拡大以降、極力生徒が密集しないよう学年・クラスを分散させる対応により、通常より時間を要し、農家による説明も複数回に渡る等、協力農家への負担が増えている。また、ジャガイモの収穫は6月下旬頃が最適な収穫時期となっており、学校行事等の関係もあり、6月中旬頃までに収穫体験を完了させたい学校も多くあり、日程調整は今後も課題である。	B						○	経済課	
18	35	5	地場野菜等の販売促進	新鮮で安全な地場野菜等の販売促進を目指して、庭先直売所の周知や、生産者、JA、事業者等の連携を推進する。	■庭先直売所マップ 市報や食育HP等でPRを実施 庭先直売所マップ配布 ■JAファーマーズ・マーケットの後援 春の園芸市や年末年始の地場産農産物の販売に係るイベントを後援した。 ■学校給食 地場産農産物の積極的導入を図るため、学務課、経済課、栄養士、JAの関係者による懇談会の実施及び給食用野菜の生産農家園場の見学会を実施した。	B	より多くの地場産農産物を導入している仕組みとして、令和5年度から市内地場産農産物を購入した小・中学校に対して、補助金を支給できるよう整備した。 野菜の規格についての認識のズレや野菜の品質の良くないものが納品されるトラブルなどから、目合わせ等共通の認識がもてるような機会を引き続き開催していく。	■庭先直売所マップ 市報や食育HP等でPRを実施 ■JAファーマーズ・マーケットの後援 春の園芸市や年末年始の地場産農産物の販売に係るイベントを後援した。 ■学校給食 地場産農産物の積極的導入を図るため、学務課、経済課、栄養士、JAで学校給食会議を開催した。	より多くの地場産農産物を導入している仕組みとして、市内地場産農産物を購入した小・中学校に対して、補助金を支給した。野菜の規格について、共通の認識がもてるよう、目合わせ会等を開催していく。	A							○	経済課
					経済課の庭先直売所マップは、令和4年度当初に健康課から関係機関に第4次食育推進計画を配布するときに一緒に配布をした。また栄養事業等の参加者への配布、歯と口の健康での参加者への配布、及び健康課窓口での配布を行った。 また夏休みの栄養講習会(学務課との合同事業)で地場野菜について講義でふれた。	B	今後も事業等で地場野菜について機会があれば触れていきたい。	栄養事業等での周知や夏休みの栄養講習会(学務課との合同事業)で地場野菜について講義でふれた。	今後も事業等で地場野菜について機会があれば触れていきたい。	B							○	健康課
19	36	6	料理講習会	地産地消を推進するため、農業経営者クラブと連携し、地場産野菜を利用した料理教室を実施する。	■地場産野菜を使用した料理教室 新型コロナウイルス感染症対策の観点から内容を変更し、地場産野菜を使ったクラスパスバスケットを作るワークショップを予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止とした。	D	生産者との交流や生産体験機会を通して身近な農業の大切さを感じていただける取組を継続していく。	■一日生活教室 野菜を丸ごと使いきろう 対象:市民 参加者:15名 場所:小金井ファーマーズ・マーケット調理室 内容:地場産野菜を使ったピクルス、いなりずし、豚汁、お団子 講師:東京むさし農業協同組合小金井地区女性部	令和6年度以降も継続して実施していく。	A						○	○	経済課

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和4年度進捗状況			令和5年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課	
					令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み 及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
20	36	7	新たな特産物の普及促進	JAなどと連携し、ルバーブなど新たに特産化の可能性がある農産物の情報を生産者へ提供する。	■地場産野菜を使用した料理教室 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。 ■学校給食 ルバーブパンを年に1回、市内公立小中学校全校で提供。その他各小・中学校でルバーブジャム・ルバーブとブルーベリーのジャム・ルバーブチキン・鶏のから揚げルバーブソース・ルバーブクラムブル・ルバーブとクリームチーズのバリバリ揚げ・ルバーブマドレーヌ・ルバーブとブルーベリーのマドレーヌなどを提供。	ルバーブの取組みについては進められているが、ルバーブ以外の特産化の取組みはできていない。	B	■地場産野菜を使用した料理教室 対象：市民 講師：東京むさし農業協同組合小金井地区女性部 参加者：15人 献立：地場産野菜を使ったピクルス、いなりずし、豚汁、お団子 ■学校給食 各小・中学校で手作りルバーブジャム・ルバーブといちごのジャム・ルバーブマドレーヌ・ルバーブチキン・鶏のから揚げルバーブソース・ルバーブとクリームチーズのバリバリ揚げ・ルバーブクラムブル・ルバーブソースケーキ・ルバーブマフィン・ルバーブとブルーベリーのマフィン・鶏肉のルバーブソース焼きを提供。	ルバーブの取組みについては進められているが、ルバーブ以外の特産化の取組みはできていない。	B								○	経済課
21	36	8	生産者との交流促進	生産者との交流や生産体験の機会として、農地等の見学会を行う。	■農家交流会 対象：市民 参加数：22人参加 圃場：関野町の畑2箇所	市民を対象に募集し、2箇所の農地で収穫体験終了後、参加者と農家の意見交換会を実施した。 生産者との交流や生産体験機会を通して身近な農業の大切さを感じていただける機会となった。 令和5年度以降も引き続き継続していく。	A	■農家交流会 対象：市民 参加数：32人参加 圃場：貫井南町の畑2箇所	市民を対象に募集し、2箇所の農地で収穫体験終了後、参加者と農家の意見交換会を実施した。 生産者との交流や生産体験機会を通して身近な農業の大切さを感じていただける機会となった。 令和6年度以降も引き続き継続していく。	B								○	経済課
22	36	9	野菜収穫体験	食品リサイクル堆肥を使って育てた野菜の収穫体験を行う。	■市民向けに収穫体験を実施 全3回（参加者：①16名②5名③9名） ■公務員宿舎に設置された生ごみ処理機利用者、家庭用生ごみ処理機から出る生ごみ乾燥物の戸別回収を実施している世帯及び土曜生ごみ投入参加者を対象に収穫体験を実施 全4回（参加者：①12名②7名③11名）	市民向けの収穫体験では、資源循環の説明を併せて行うことで、ごみの減量及び資源循環の理解が深まった。 生ごみ処理機を利用されている方向けの収穫体験では、普段からごみ減量への意識が高く、収穫物の食べ方紹介では大根の葉を使用したレシピ等にも興味を持ってもらい、資源循環の大切さに加え、ごみの発生抑制の重要性の周知も図ることができた。	B	■市民向けに収穫体験を実施 全1回 さつまいも収穫体験（参加者：14名） ■公務員宿舎に設置された生ごみ処理機利用者、家庭用生ごみ処理機から出る生ごみ乾燥物の戸別回収を実施している世帯及び土曜生ごみ投入参加者を対象に収穫体験を実施 全4回 じゃがいも収穫体験（参加者：①10名②3名③3名④4名）	市民向けの収穫体験では、資源循環の説明を併せて行うことで、ごみの減量及び資源循環への理解が深まった。 生ごみ処理機を利用されている方向けの収穫体験では、普段からごみ減量への意識が高く、資源循環の大切さに加え、ごみの発生抑制の重要性の周知も図ることができた。	B								○	ごみ対策課
23	36	10	保育園出張講座	公立保育園の園児を対象に資源循環の紙芝居と食品リサイクル堆肥を使ったプランター野菜の収穫体験を行う。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。代替として、公立保育園向けに紙芝居を制作した。	新型コロナウイルス感染症の動向を注視しつつ事業を実施していきたい。	B	12月～1月にかけて、市内公立保育園全5園を回り、資源循環教室の一環として、野菜の収穫体験及び食品リサイクル講話による環境学習を実施。 収穫のある園：小松菜の収穫 収穫のない園：ピオラの植え付け	保育園の園児向けにストーリーを考案し、食品の資源循環に関する環境学習を実施し、興味を持って参加してもらった。今後も継続して事業を実施していきたい。	A								○	ごみ対策課

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和4年度進捗状況			令和5年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課					
					令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み 及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦						
生涯にわたる食育推進 ①乳幼児と保護者の食育推進													ア保健センター			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
24	37	1	マタニティクッキング	妊婦とそのパートナー等に妊娠期における栄養の摂り方等の講義・実習・試食を行う。	実施回数：2回6人	実施日を平日2回・土曜日2回から土曜日4回に変更し、定員も増やしてパートナーとの参加可としたが、集客ができてず、事業を廃止することとした。(コロナ前から参加者も減少していた) その分の予算を令和5年度の離乳食完了食に回すことにした。	C												子ども家庭センター母子保健係				
25	37	2	両親学級	妊婦とそのパートナー等に各種講義を行う中で栄養講義を行う。	実施回数：16回(平日、土曜日ともプログラムに栄養が入る。)参加者数：妊婦111人、パートナー100人(実習中の密を避けるため、土曜日は、各家庭1名)	令和5年度は、平日だけでなく、土曜日にもパートナーとの参加が可能となったので、さらに受講者の増員が見込まれる。	A	実施回数：16回(平日、土曜日ともプログラムに栄養が入る。)参加者数：妊婦300人、パートナー289人(コロナ以前と同様平日、土曜日ともパートナーとの参加が可となった。)	今後も受講者が毎回ほぼ定員数で集客できそうである。令和6年度より管轄が子ども家庭センター母子保健係になる。	A		○	○	○	○				子ども家庭センター母子保健係				
26	37	3	離乳食教室	生後4～5、6～7、8～11か月児を対象に分け、それぞれの保護者を対象に離乳食の講義、試食を行う。ただし、4～5か月児については、集団健診内で行うこともある。	離乳食教室(1回食)実施回数：24回(同日に2回)参加者数174人 離乳食教室(2回食)実施回数：12回 参加者数：82人 離乳食教室(3回食)実施回数：12回 参加者数：92人	定員を9人から10人に変更。令和5年度は、前年同様のあった両週での参加も認めるため、定員は10人のままにする。年4回(10人×2回/日)の完了食の教室を新たに開催する予定である。	B	離乳食教室(1回食)実施回数：24回(同日に2回)参加者数182人 離乳食教室(2回食)実施回数：12回 参加者数：100人 離乳食教室(3回食)実施回数：12回 参加者数：96人 離乳食教室(完了食)実施回数：8回(同日に2回)参加者数：39人	定員は10人だが、令和5年6月よりパートナーや祖父母の付き添いも可能とした。同時期に試食も開始した。完了食については、講義と質疑応答を半々の時間でいい、試食はなしである。この時期は対象者が保育園の通園で減ることも大きい。ニーズがあるとは思っているので、広報も工夫していきたい。令和6年度より1回食を乳児健診の集団教育のほうで実施する予定である。1回食では、1か月20人が対象となるが、健診の場合は、参加者のほとんどに話をすることができると想定されている。令和6年度より管轄が子ども家庭センター母子保健係になる。	A		○	○	○					子ども家庭センター母子保健係				
27	37	4	乳幼児食育メール	健康ナビ登録者から希望者に対し、メールにて食育等の情報提供を行う。	配信回数：毎月1回配信 登録者数(配信可能数)：1447人 0～1歳531人、2～3歳509人、4～5歳407人	広報は行っているが年々対象者は減ってきている。今後も限られたスペースで多くの情報の提供ができるよう工夫していきたい。	B	配信回数：毎月1回配信 登録者数(配信可能数)：1397人 0～1歳498人、2～3歳483人、4～5歳416人	広報は行っているが年々対象者は減ってきている。今後も限られたスペースで多くの情報の提供ができるよう工夫していきたい。令和6年度より管轄が子ども家庭センター母子保健係になる。	B	○	○	○	○	○	○	○		子ども家庭センター母子保健係				
28	37	5	こどもクッキング	未就学児とその保護者を対象に、調理・試食を含む栄養教室を行う。	実施回数：4回 参加者数：39人(親子17組)	2～3歳と3～5歳という枠で募集している。調理体験を通して年少者の食への関心が引き出せるよう継続していきたい。	B	実施回数：4回 参加者数：44人(親子22組)	2～3歳と3～5歳という枠で募集している。調理体験を通して年少者の食への関心が引き出せるよう継続していきたい。令和6年度より管轄が子ども家庭センター母子保健係になる。	B	○	○	○	○	○	○			子ども家庭センター母子保健係				
29	37	6	乳幼児保健相談(のびのび広場相談)	乳幼児を対象に、地域センター等で計測を行い、希望者に保健師・管理栄養士等が相談を行う。	実施回数：64回 実施者数：278人 実施場所：貫井南センター、東センター、婦人会館、上水会館、丸山台集会施設、保健センター	令和4年度は、予約制だったが、令和5年5月8日からはコロナ以前と同様、予約なしになる。さらにより多くの方に対応可能となる予定。	A	実施回数：65回 実施者数：376人 実施場所：貫井南センター、東センター、婦人会館、上水会館、丸山台集会施設、保健センター	令和5年5月8日からはコロナ以前と同様、予約なしになった。健診以外の場でも案内をしている。令和6年度より管轄が子ども家庭センター母子保健係になる。	A	○	○	○	○					子ども家庭センター母子保健係				
30	37	7	栄養個別相談	管理栄養士によるアレルギー食や子どもの食事相談を行う。	実施回数：4回 実施者数：5人 実施場所：保健センター	前もって予約してくるの、難しい場合もあり、聞きたいときに電話ですませたい方は、可能な限り、対応している。電話対応は、87件あった。出産応援事業やアセストベースデー事業のアンケートで栄養の困りごとが多かった。	B	実施回数：7回 実施者数：11人 実施場所：保健センター	個別相談は、コロナの流行も一段落したので少し増えた。電話対応は、62件あった。昨年より減ったのは、実際の事業(のびのび相談等)に足を運ぶ方が増えたからだと思う。	B	○	○	○	○				健康課					
31	37	8	エンジェル教室	5か月児とその保護者を対象とした育児知識等の各種講習の中で、離乳食の講義・試食を行う。	実施回数：12回(2日間コースの内1日) 参加者数(延数)：大人165人子ども145人 子どもの口の発達に見合った離乳食の形状や食べさせ方を知ることにより、負担なく離乳食を進められることを目指した。	すりつぶしの体験を取り入れたことで、栄養士や参加者同士が交流し、離乳食に対する不安の軽減につながった。離乳食を始めた方も多いため、すりつぶしの食材を増やしながら、引き続き離乳食づくりの負担軽減につなげる。	B	実施回数：12回(2日間コースの内1日) 参加者数(延数)：大人152人子ども145人 子どもの口の発達に見合った離乳食の形状や食べさせ方を知ることにより、負担なく離乳食を進められることを目指した。	すりつぶしの体験を取り入れたことで、栄養士や参加者同士が交流し、離乳食に対する不安の軽減につながった。離乳食を始めた方も多いため、すりつぶしの食材を増やしながら、引き続き離乳食づくりの負担軽減につなげる。	B			○	○					子ども家庭センターこども相談係				

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和4年度進捗状況			令和5年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課			
					令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み 及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦				
生涯にわたる食育推進 ①乳幼児と保護者の食育推進 イ保育所・幼稚園等															①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
32	38	1	年間食育計画をもとにした食育	食育計画や年間行事計画を作成し、子どもの発達に応じた食育事業を実施する。	年間を通して子どもたちと食を共にすることから一食一食を大切にすることはもちろんのこと、年間の計画を作成し、体系的に食育事業を実施した。	B	年間を通して子どもたちと食を共にすることから一食一食を大切にすることはもちろんのこと、年間の計画を作成し、体系的に食育事業を実施した。	今後も継続して取り組んでいく。	B	年間を通して子どもたちと食を共にすることから一食一食を大切にすることはもちろんのこと、年間の計画を作成し、体系的に食育事業を実施した。	今後も継続して取り組んでいく。	○	○	○				保育課			
33	38	2	収穫体験	農業体験として園児が収穫したイモを、調理して食べる。	農家の方の協力による芋ほりや園庭で育てた野菜等を子どもが収穫体験し、それらの食材を給食及びクッキング保育で使用した(公立全5園各5回以上開催)。収穫から体験することで、生産者への感謝や食に対する興味の上昇が図れた。	B	農家の方の協力による芋ほりや園庭で育てた野菜等を子どもが収穫体験し、それらの食材を給食及びクッキング保育で使用した。収穫から体験することで、生産者への感謝や食に対する興味の上昇が図れた。	今後も継続して取り組んでいく。	B	農家の方の協力による芋ほりや園庭で育てた野菜等を子どもが収穫体験し、それらの食材を給食及びクッキング保育で使用した。収穫から体験することで、生産者への感謝や食に対する興味の上昇が図れた。	今後も継続して取り組んでいく。						○	○	保育課		
34	38	3	給食だより	給食だよりを配布・掲示する。特に、食育月間・食育の日の取組を行う。	毎月、給食だよりを発行し、保護者の食に対する不安解消や家庭での食育の充実を図れるよう情報提供を行った。	B	毎月、給食だよりを発行し、保護者の食に対する不安解消や家庭での食育の充実を図れるよう情報提供を行った。	保護者が食に対して興味を持てるよう、今後もさらに内容を充実していく。	B	毎月、給食だよりを発行し、保護者の食に対する不安解消や家庭での食育の充実を図れるよう情報提供を行った。	保護者が食に対して興味を持てるよう、今後もさらに内容を充実していく。	○	○	○				保育課			
35	38	4	クッキング保育	園児がクッキング体験をし、食の知識やその大切さを学ぶ。	新型コロナウイルス感染拡大防止策をとりながら可能な範囲で実施した。	B	公立保育園5園で園児の調理保育を実施した。食の知識だけでなく、調理過程や器具の使い方等を伝えることができた。	今後も継続して取り組む。	B	公立保育園5園で園児の調理保育を実施した。食の知識だけでなく、調理過程や器具の使い方等を伝えることができた。	今後も継続して取り組む。	○	○	○				保育課			
36	38	5	食物アレルギー等の個別相談	必要に応じて保護者と個別に相談し、給食に反映させる。	食物アレルギーがある子どもの保護者と個別に随時面談を行い、医師による生活管理指導表に基づいた対応で給食に反映させた。	B	食物アレルギーがある子どもの保護者と個別に随時面談を行い、医師による生活管理指導表に基づいた対応で給食に反映させた。	今後も保護者と連携を密にとり、対応していく。	B	食物アレルギーがある子どもの保護者と個別に随時面談を行い、医師による生活管理指導表に基づいた対応で給食に反映させた。	今後も保護者と連携を密にとり、対応していく。			○	○				保育課		
37	38	6	栄養士による出前講座	市立保育園の栄養士が児童館に出向き、食育相談を行う。	新型コロナウイルス感染拡大防止策をとりながら可能な範囲で実施した。	B	児童館で職員相談を行った。(1回)	今後も継続して取り組んでいく。	B	児童館で職員相談を行った。(1回)	今後も継続して取り組んでいく。	○	○	○				保育課			
38	38	7	生産者・食材納品業者等との交流	地域の生産者・食材納品業者等と園児がふれあい、特に野菜や魚の実物が見られるよう配慮する。	農家の方にご協力をいただき芋掘りを行い、給食の食材として利用した。じゃがいも掘り 5園 さつまいも掘り 5園	B	農家の方にご協力をいただき芋掘りを行い、給食の食材として利用した。じゃがいも掘り 5園 さつまいも掘り 5園	今後も取り組みを工夫し、より充実したものにしていく。	B	農家の方にご協力をいただき芋掘りを行い、給食の食材として利用した。じゃがいも掘り 5園 さつまいも掘り 5園	今後も取り組みを工夫し、より充実したものにしていく。						○	○	保育課		
39	38	8	地域向け食育活動	離乳食、幼児食、アレルギー食等について、地域からも参加できる食育相談や講習会、試食会を実施する。	例年、地域の子育て中の人を対象に、全5園で園庭開放利用者や見学者の食育相談を行ったり、一時保育利用者の相談を行うなど、地域の人が参加できる食育相談を行ってきたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、一部の実施にとどまった。	C	地域の子育て中の人を対象に、園庭開放利用者や見学者の食育相談を行ったり、一時保育利用者の相談を行うなど、地域の人が参加できる食育相談を行った。	今後も継続して取り組む。	B	地域の子育て中の人を対象に、園庭開放利用者や見学者の食育相談を行ったり、一時保育利用者の相談を行うなど、地域の人が参加できる食育相談を行った。	今後も継続して取り組む。	○		○		○	○	保育課			
40	38	9	地域連携の推進	私立の保育所・幼稚園等との連携を推進する。	保健センター(健康課)の管理栄養士と公立保育園栄養士との連携を取り、市の方向性を統一できるように努めた。	B	保健センター(健康課)の管理栄養士と公立保育園栄養士との連携を取り、市の方向性を統一できるように努めた。	保健センターの管理栄養士との連携をより深く、保育園での活動など情報を発信する等も検討する。学校栄養士との情報交換を目指す。	B	保健センター(健康課)の管理栄養士と公立保育園栄養士との連携を取り、市の方向性を統一できるように努めた。	保健センターの管理栄養士との連携をより深く、保育園での活動など情報を発信する等も検討する。学校栄養士との情報交換を目指す。						○		保育課		

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和4年度進捗状況			令和5年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課			
					令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み 及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦				
41	38	10	家庭と協働した食育支援	望ましい食習慣の取組ができるよう支援する。	園ごとに保育園給食のおすすめレシピや旬の食材等を紹介。保護者向けに展示やレシピメモを配布し乳幼児食への理解促進に努めた。	B	園ごとに保育園給食のおすすめレシピや旬の食材等を紹介。保護者向けに展示やレシピメモを配布し乳幼児食への理解促進に努めた。	今後も更なる内容の充実に努め、様々な機会を活用し情報発信していく。	今後も更なる内容の充実に努め、様々な機会を活用し情報発信していく。	B			○	○					保育課		
生涯にわたる食育推進 ①乳幼児と保護者の食育推進 ウ児童館											①	②	③	④	⑤	⑥	⑦				
42	38	1	子育て相談会	保護者に対する食事や栄養をテーマにした専門家による講演会及び相談会を行う。	<p>【本町児童館】 離乳食講座等 5回/54人 ・離乳食講座 2回/20人 ・幼児食講座 2回/22人 ・子育て栄養相談会 1回/12人</p> <p>【東児童館】 離乳食講座等 5回/70人 ・離乳食講座 3回/42人 ・ばおばおミニ講座 2回/28人</p> <p>【貫井南児童館】 離乳食相談会 2回/23人</p> <p>【緑児童館】 離乳食講習会等 5回/46人 ・離乳食講習会 2回/18人 ・食育相談会 2回/20人 ・夏の健康相談会 1回/8人</p>	B	<p>【本町児童館】 離乳食講座 2回/25人</p> <p>【東児童館】 離乳食講座等 5回/74人 ・離乳食講座 3回/41人 ・ばおばおミニ講座 2回/33人</p> <p>【貫井南児童館】 離乳食（食育）講習会 2回/31人</p> <p>【緑児童館】 離乳食講習会等 3回/24人 ・離乳食講習会 2回/18人 ・1歳児の食事講習会 1回/6人</p>	新型コロナウイルス感染症の影響で調理・試食スタイルを中止した他、定員を半数以下に設定して実施した。	次年度は感染対策を行いつつコロナ禍前の方法・規模で事業実施予定。	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた調理・試食をコロナ禍以前の形式・規模に戻して実施した。	次年度についても同内容・規模で引き続き取り組んでいく。	A			○	○				児童青少年課	
43	38	2	乳幼児食事会	子育てひろばや幼児グループで行う食を通しての交流会（情報を交換し、食育に対する理解を深める）を行う。	<p>【本町児童館】 幼児グループ食事会 実施せず</p> <p>【東児童館】 幼児グループ食事会 4回/72人</p> <p>【貫井南児童館】 幼児グループ食事会 4回/52人</p> <p>【緑児童館】 ・幼児グループ焼き芋、食事会 2回/32人</p>	A	<p>【本町児童館】 幼児グループ食事会 6回/97人</p> <p>【東児童館】 幼児グループ食事会等 14回/298人 ・子育てひろば食会 6回/98人 ・子育てひろば茶房 1回/10人 ・1歳児グループ食事会 2回/80人 ・幼児グループ食事会 5回/110人</p> <p>【貫井南児童館】 幼児グループ調理、食事会 6回/80人</p> <p>【緑児童館】 幼児グループ焼き芋、食事会 4回/55人</p>	新型コロナウイルス感染症の影響で調理のある事業は中止したが、一部の館で焼き芋やお弁当を持参しての食事会をした。	子育てひろばの「たより」にて会食メニューを掲載紹介した。	次年度は感染対策を行いつつコロナ禍前の方法・規模で事業実施予定。	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた会食・調理をコロナ禍以前の形式・規模に戻して実施した。	子育てひろばの「たより」にて会食メニューを掲載紹介した。	次年度についても同内容・規模で引き続き取り組んでいく。	A			○				児童青少年課

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和4年度進捗状況			令和5年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課						
					令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み 及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦							
生涯にわたる食育推進 ②学齢期の食育推進															ア小学校		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
44	39	1	学校における食育の推進と情報発信	学習指導要領に基づく学校ごとの食に関する全体計画を作成し、積極的に食育の推進を図る。	農家の訪問見学など一部実施が困難なものもあったが、食に関する全体計画をもとに、生活科の学習や野菜を育てる体験学習などを実施した。ICT端末を用いて直接体験の代替学習を実施した。コロナ禍において、黙食が継続されたため食育の目標達成が困難なものもあった。	B	食に関する全体計画をもとに、社会科の農家見学や生活科や理科の野菜を育てる体験学習などを実施した。	感染防止等に配慮しながら体験学習のさらなる充実を図る。ICT端末を活用した学習についてさらに研究し、実践するよう指導する。食育の目標達成に向けて給食指導の充実をめざしていきたい。	B						○	○	指導室							
45	39	2	給食を通じた食育	栄養教諭・食育リーダーを中心に、授業や給食委員会の活動・日々の給食を通して、望ましい食習慣を身につけさせる。	食育リーダー会を開催し、食に関する全体計画の作成に向けて、各校の取組及び課題についての情報共有を行った。	B	食育リーダー会を開催し、食に関する全体計画の作成に向けて、各校の取組及び課題についての情報共有を行った。	教育委員会より食育に関する様々な資料を提供した。引き続き学校に有益な情報の提供に努め、各校の食に関する全体計画の改善を進めていきたい。	B		○	○	○		○	○	学務課・指導室							
46	39	3	地域と交流した食育活動	給食だより・校内放送等での取組を含め、地域の生産者等と児童・生徒が交流する。	地域の生産者との交流については、授業の一環として実施している学校がある。引き続き指導室・栄養教諭と連携を取り、食育推進等の支援をする。	B	地域の生産者との交流については、授業の一環として実施している学校がある。引き続き指導室・栄養教諭と連携を取り、食育推進等の支援をする。	地域の生産者等との交流については、引き続き授業の一環として実施できるよう小中学校や指導室に協力を求める。	B		○	○	○		○	○	学務課・指導室							
47	39	4	家庭と協働した食育支援	望ましい食習慣の取組ができるよう支援するため、給食だより等の情報提供を充実させる。	小中学校全14校で給食だよりを毎月発行している。	A	小中学校全14校で給食だよりを毎月発行している。	今後も継続していく。	A	○	○	○	○		○	○	学務課							
48	39	5	栄養講習会 (親子クッキング教室)	小学生とその保護者を対象に、生活習慣病予防につながるテーマについて講義・実習・試食を行う。	実施者数：親子6組(大人6人子ども6人)	B	令和3年度に引き続き、同内容で学年のみ変更し、年令に合わせた説明等を行った。興味を持って話を聞いたり、調理体験を楽しんだりすることができた。今後も継続する予定である。	実施者数：親子3組(大人3人子ども3人)予約は5組だったが、キャンセルがあった。	B			○			○		健康課・学務課							

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和4年度進捗状況			令和5年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課	
					令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み 及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
生涯にわたる食育推進 ②学齢期の食育推進 イ学童保育所・児童館 ウ公民館											①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
49	39	1	食育指導 (学童保育所)	食べることを通して、団らんの楽しさ、作ることの楽しさ、食べることの楽しさを仲間と分かち合う。	各学童保育所ごと日常のおやつとは別に月に1回は食育の日を決めて、テーマをもって食育に取り組み、食にまつわること、季節を感じることから食卓育、マナーまで幅広くを学んでいる。	日常のおやつの中では手洗い、マナーはもちろん季節に応じた食を提供すると同時に、食育の日にはテーマをもって食を意識できるように取り組みを新型コロナウイルス感染症対策を講じながら令和5年度も継続して実施していく。	B	各学童保育所ごと日常のおやつとは別に月に1回は食育の日を決めて、テーマをもって食育に取り組み、食にまつわること、季節を感じることから食卓育、マナーまで幅広くを学んでいる。	日常のおやつの中では手洗い、マナーはもちろん季節に応じた食を提供すると同時に、食育の日にはテーマをもって食を意識できるように取り組みを令和6年度も継続して実施していく。	B			○	○					児童青少年課
50	39	2	料理教室 (児童館)	主に小学生から中・高校生までを対象として手作りを基本とした料理教室を行い、作り方を指導し、食を共にしながら相互に交流を図る。また、地場野菜等を通じた生産者との交流や環境に配慮した料理教室等を実施する。	<p>【本町児童館】 各種料理教室等 9回/132人 ・幼児グループ芋ほり (4回/91人) ・低学年グループ (4回/31人) ・高学年グループ (1回/10人)</p> <p>【東児童館】 各種料理教室等 15回/239人 ・幼児グループ芋ほり (4回/74人) ・低学年グループ (4回/42人) ・高学年グループ (1回/11人) ・低学年グループいも掘り (4回/88人) ・高学年グループいも掘り (2回/24人)</p> <p>【貫井南児童館】 各種料理教室等 10回/146人 ・幼児グループ芋ほり (4回/52人) ・低学年グループ (2回/19人) ・高学年グループ (1回/7人) ・春の遊ぼうパンまつり (1回/46人) ・スペース@スクイ (1回/5人) ・ティーンズ合宿 (1回/17人)</p> <p>【緑児童館】 各種料理教室等 7回/90人 ・幼児グループ芋ほり (2回/32人) ・低学年グループ (3回/43人) ・高学年グループ (2回/15人)</p>	<p>【本町児童館】 各種料理教室等 31回/491人 ・幼児グループ芋ほり (4回/80人) ・低学年グループ (18回/292人) ・高学年グループ (8回/107人) ・本町アートファクトリー (1回/12人)</p> <p>【東児童館】 各種料理教室等 54回/826人 ・1歳児グループ芋ほり (1回/34人) ・幼児グループ芋ほり、大根ほり (4回/92人) ・低学年グループ (20回/334人) ・高学年グループ (7回/64人) ・低学年グループ芋ほり、大根ほり (4回/65人) ・高学年グループ芋ほり、大根ほり (2回/19人) ・おくわくキッズ (4回/23人) ・料理しまう (2回/22人) ・夏期クラブ夕食作り (1回/60人) ・中高生タイム (10回/94人) ・とまるぜ! 中高生 (2回/19人)</p> <p>【貫井南児童館】 各種料理教室等 45回/581人 ・幼児グループ芋ほり (2回/24人) ・低学年グループ (10回/148人) ・高学年グループ (10回/69人) ・スペース@スクイ (10回/81人) ・あそぼうキッズ (幼稚園児世代対象) (3回/30人) ・エプロンキッズ (小学生対象) (8回/141人) ・地域連携野菜収穫祭 (プロローグ大作戦) (1回/76人) ・ティーンズ合宿2024 (中・高校生世代対象宿泊事業) (1回/12人)</p> <p>【緑児童館】 各種料理教室等 47回/680人 ・幼児グループ芋ほり (2回/30人) ・幼児グループ (4回/56人) ・低学年グループ (20回/297人) ・高学年グループ (12回/185人) ・ロビンソクラブ (3回/40人) ・お菓子作り (2回/26人) ・ロビンソクラブ いちご摘み (1回/31人) ・夏の野外料理講習会 (1回/8人) ・夏のどろ作り! エコクッキング〜 (1回/8人) ・ロビンソクラブ・なんでも作ろう合同焼き芋大会 (1回/30人)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で調理や喫食のある事業はほとんど中止となったが、3月に野外調理や室内でのおやつ作り等を実施した。</p> <p>次年度は感染対策を行いつつコロナ禍前の方法・規模で事業実施予定。</p>	A	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた調理や喫食のある事業をコロナ禍以前の形式・規模に戻して実施した。</p> <p>次年度についても同内容・規模で引き続き取り組んでいく。</p>	A			○						児童青少年課

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和4年度進捗状況			令和5年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み 及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
生涯にわたる食育推進 ③青年期から高齢期の食育推進											①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
51	40	1	学校における食育の推進と情報発信 [再掲]	学習指導要領に基づく学校ごとの食に関する指導全体計画を作成し、積極的に食育の推進を図る。	職場体験活動など一部実施が困難なものもあったが、食に関する全体計画のもとに、保健体育科の健全な心身の成長を図るための学習や家庭科の調理実習学習などを実施した。ICT端末を用いて直接体験の代替学習を実施した。コロナ禍において、黙食が継続されたため食育の目標達成が困難なものもあった。	B	食に関する全体計画のもとに、保健体育科の健全な心身の成長を図るための学習や家庭科の調理実習学習などを実施した。	感染防止等に配慮しながら体験学習のさらなる充実を図る。ICT端末を活用した学習についてさらに研究し、実践するよう指導する。食育の目標達成に向けて給食指導の充実に向けていきたい。	B			○	○	○			指導室	
52	40	2	給食を通じた食育 [再掲]	栄養教諭・食育リーダーを中心に、授業や給食委員会の活動・日々の給食を通して、望ましい食習慣を身につけさせる。	食育リーダー会議では、各校の取組みの情報共有を行った。	A	食育リーダー会議では、各校の取組みの情報共有を行った。	食育リーダー会議で検討・作成したリーフレットを小学校1年生の児童の保護者へ配布した。	A			○	○	○	○		学務課・指導室	
53	40	3	地域と交流した食育活動 [再掲]	給食だより・校内放送等での取組を含め、地域の生産者等と児童・生徒が交流する。	地域の生産者等との交流については、授業の一環として実施している学校がある。引き続き指導室・栄養教諭と連携を取り、食育推進等の支援をする。	B	地域の生産者等との交流については、引き続き授業の一環として実施できるよう小中学校や指導室に協力を求める。	地域の生産者等との交流については、引き続き授業の一環として実施できるよう小中学校や指導室に協力を求める。	B			○	○	○	○		学務課・指導室	
54	40	4	家庭と協働した食育支援 [再掲]	望ましい食習慣の取組ができるよう支援するため、給食だより等の情報提供を充実させる。	小中学校全14校で給食だよりを毎月発行している。	A	小中学校全14校で給食だよりを毎月発行している。	今後も継続していく。	A	○	○	○	○		○	○	学務課	
55	40	5	ミニパンフレットによる情報発信	青年期向けの食育に関するミニパンフレットを作成し、関係機関に配する。	青少年向けミニパンフレットを成人式に750部配布用として用意した。	B	青少年向けミニパンフレットを昨年と同じものを成人式に750部配布用として用意した。	来年度は、多摩府中保健所にて制作のバランスの良い食事についてのパンフレットを配布する予定である。	B			○		○	○		健康課	

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和4年度進捗状況			令和5年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み 及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
生涯にわたる食育推進 ③青年期から高齢期の食育推進 イ成人・高齢者の食育推進											①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
56	41	1	栄養個別相談	生活習慣病等、個人のニーズに合わせた栄養に関する相談を行う。	実施回数：5回 実施者数：13人	月1回の決められた日時にくるのは、難しいという意見もあり、聞きたいときに電話で済ませたい方も多い。電話や窓口に来た方については、可能な限り、対応している。なお、電話相談は8件だった。	B	実施回数：8回 実施者数：12人	国民健康保険の健診がらみやポイント事業の対象になっていることでこれらの方がほとんどだった。電話相談は5件だった。	B		○	○	○	○			健康課
57	41	2	栄養講習会	生活習慣病や健康づくりに関するテーマを設定し、テーマに合わせた栄養講義や調理実習を行う。	栄養講習会：5回（小学生とその保護者向けを除く）参加者数：28人	定員は昨年同様10人。講義とデモで行った。終了してからも質疑応答がつづくことも珍しくなかった。	B	栄養講習会：4回（小学生とその保護者向けを除く）参加者数：36人	講義とデモンストレーション、質疑応答に加え、6月以降は、試食で行った。参加者の年齢や性別が偏らないように年齢や性別を区切った講習会も継続していきたい。	B		○	○	○	○	○		健康課
58	41	3	健康づくりフォローアップ指導教室	糖尿病や骨粗しょう症など、疾病や年齢に合わせた栄養講義を行うことにより、疾病の予防や健康に対する意識の啓発、生活習慣の改善を支援する。	糖尿病予防教室：9人 骨粗しょう症予防教室：7人 いきいき健康教室：8人 血管若返り教室：10人 親子健康教室：9人(大人4人子ども5人) ボディメイク教室：8人 糖尿病復習会：7人 計58人	昨年に引き続き、コロナ禍のため、積極的な動員は行っていない。令和5年にコロナ禍が緩和できれば、積極的な動員を行う予定である。	B	糖尿病予防教室：13人 骨粗しょう症予防教室：5人 いきいき健康教室：6人 血管若返り教室：13人 親子健康教室：8人(大人4人子ども4) ボディメイク教室：5人 糖尿病復習会：9人 計59人	定員をコロナ前に戻したのもあるが、なかなか以前のように集客できなかった。来年度はチラシの配布場所を増やしたい。	B		○	○	○	○			健康課
59	41	4	特定保健指導	特定健康診査において生活習慣病を発病するリスクが高い結果となった方に対して、特定保健指導を行うことにより、疾病の予防や早期発見、健康に対する意識の啓発、生活習慣の改善を支援する。	特定保健指導対象者数 動機付け支援：555人 積極的支援：206人 特定保健指導利用者数 動機付け支援：105人 積極的支援：35人	特定健康診査において生活習慣病を発病するリスクが高い結果となった方に対し、特定保健指導を行った。今後も特定保健指導の利用率が向上するよう運動教室も併用しながら利用動員を行い、管理栄養士・保健師と共に、対象者にあつた食生活の見直し等を行う。	B	特定保健指導対象者数 動機付け支援：524人 積極的支援：194人 特定保健指導利用者数 動機付け支援：90人 積極的支援：23人	特定健康診査において生活習慣病を発病するリスクが高い結果となった方に対し、特定保健指導を行った。今後も特定保健指導の利用率が向上するよう運動教室も併用しながら利用動員を行い、管理栄養士・保健師と共に、対象者にあつた食生活の見直し等を行う。	B		○	○	○			保険年金課	
60	41	5	成人学校	食に関する様々なテーマを取り上げた講座等を開催する。														公民館
61	41	6	成人学校「菜園教室」	【目的】額に汗しながら土に親しみ、野菜の共同栽培を通じて作る喜びを分かち合います。また、土起こしから収穫までを体験する。	令和4年4月6日～令和5年3月8日 原則毎週水曜日実施（全43回） 延べ参加者831人	第4次小金井市生涯学習推進計画の中の「公民館を活用する学びの推進」で野菜づくり講座を事業の柱として位置付けている。令和4年度は20人で32種類の野菜を育て、野菜のつくる喜びを体験した。	A	令和5年5月10日～令和6年3月6日 原則毎週水曜日実施（全40回） 延べ参加者740人	第4次小金井市生涯学習推進計画の中の「公民館を活用する学びの推進」で野菜づくり講座を事業の柱として位置付けている。令和5年度は120人で34種類の野菜を育て、野菜のつくる喜びを体験した。							○	○	公民館
62	41	7	6024・8020運動の推進	生涯を通じて健康的な食生活が実践できるよう、60歳から80歳までの歯の健康を促進する。また、20歳以上の歯がある方の増加を目指す。	歯周疾患の早期発見に努め、生涯を通じ、自分の歯で過ごすことができるようにするため成人歯科健診を実施した。コロナ禍で受診者は減少傾向かと思われたが、受診者は昨年度より増加傾向が認められた。 受診者数：2073人	昨年同様、20歳から80歳までの5歳刻み節目年齢の方を対象に実施した。対象年齢について検診を回りながら、今後も継続して実施する。また、令和5年度より成人歯科健診を実施する方のうち、75歳、80歳を対象に加え、70歳も対象に口腔機能評価を行うこととした。	B	歯周疾患の早期発見に努め、生涯を通じ、自分の歯で過ごすことができるようにするため成人歯科健診を実施した。 受診者数：1902人	昨年同様、20歳から80歳までの5歳刻み節目年齢の方を対象に実施した。対象年齢について検診を回りながら、今後も継続して実施する。また、今年度より成人歯科健診を実施する方のうち、75歳、80歳を対象に加え、70歳も対象に口腔機能評価を行うこととした。	B					○		健康課	

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和4年度進捗状況			令和5年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み 及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
63	41	8	配食サービス	精神障がい者配食サービス 配食数：4,960食	安否確認や栄養に配慮した食事を届けることについては重要であると考え、今後も継続する。	B	精神障がい者配食サービス 配食数：5,473食	安否確認や栄養に配慮した食事を届けることについては重要であると考え、今後も継続する。	B				○					自立生活 支援課
				高齢者や精神障がい者の健康的な食生活と安否確認等のため食事の配達を行うことにより、自立した食生活を支援する。	食の自立支援事業 24,412食 (261人) (65歳以上で介護の要支援以上の方に週3回夕食を配る)、 1,425食 (12人) (65歳以上で介護の要支援以上の方に週4回～6回夕食を配る) 緊急配食サービス 43食 (9人) (退院などの理由で1週間程度配食する)	A	配食を利用すると、その利便性から外出の機会が減ることから、会食会を開き、近場を散策した後、利用者同士で食事を摂ることで、外出の機会を増やし、生きがいづくりを支援したが、令和2年11月以降は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、会食会を休止し、茶話会として実施している状況が続いている。 一日おのおわね80食という委託内容であるが、それを超える利用者数となっている。今後の受入れ体制の確保が課題である。 令和2年度より、週4回から週6回の配食サービスも行っている。	●配食サービス(食の自立支援事業) > ●普通配食(65歳以上で介護の要支援以上の方に週3回夕食を配る事業) 配食数 延べ24,412食 利用者 延べ 261人 ●特別配食(65歳以上で介護の要支援以上の方に週4回～6回夕食を配る事業) 配食数 延べ24,412食 利用者 延べ 261人 ●緊急配食サービス(退院などの理由で1週間程度配食する事業) 配食数 延べ24,412食 利用者 延べ 261人	食事の用意が困難となっている高齢者を対象として、配食サービスを実施。その他として、茶話会、栄養指導等の食関連事業も実施した。 現在、配食数については、一日当たり80食となっているが、利用者の応募が多く、受入れ体制に余裕が無い状況が続いている。配食数を増やすことが体制的に難しい面があり、利用者増に対する対応は課題となっている。	A								
新			介護予防・フレイル予防普及啓発	高齢者が介護予防の知識を得て、地域でできるだけ自立した生活が継続できるような高齢者が参加している通いの場に保健師が出向き、介護予防・フレイル予防の知識(栄養・口腔)についての講話を行う。	小金井さくら体操完全自主グループ 19名 短期集中予防サービスの利用者等 37名	B	●小金井さくら体操管理会場参加者に対し、高齢期の栄養のポイントについてミニ講座を実施(年1回) 参加者 151人 ●介護予防講座(年3回) 参加者 延べ 41人 ●オンライン介護予防教室において、栄養について管理栄養士の講座を実施(年2回) 参加者 延べ 18人	介護予防に関する講座等の中で、高齢期の栄養のポイントについて啓発を実施した。令和6年度より、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業が開始し、低栄養について、ハイリスクアプローチとポピュレーションを行う予定であるため、関係各課と連携し、具体的な方法等について啓発を行っている。	B		○		○		○		○	介護福祉課
64	41	9	ミニパンフレットによる情報発信	高齢者向けの食育に関するミニパンフレットを作成し、関係機関に配する。	令和4年度は作成なし。	D	パンフレットは年度末に完成。誰にでも配布するものではなく、栄養相談や出前事業に使用できるものにした。	健康課保健師や介護福祉課のアドバイスをを受けて作成した。事業で使用して改正の余地も出てくること、ミニでは読みづらいことも考慮し、大きさ変更で価格が変わったことから部数を抑えた。	B	○	○	○	○	○	○	○	健康課	

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和4年度進捗状況			令和5年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み 及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
5 計画の推進に向けて																		
(1) 施策の推進体制																		
65	42	1	食育推進会議	食育推進会議を継続して開催し、本計画の進捗状況を検証するとともに、必要な推進策を検討する。	令和4年度もコロナ禍のため、1回のみ書面開催としたが、全4回開催することができた。	今後も計画策定の予定と連動して会議を開催していきたい。	B	令和5年度は予定回数（4回）を行うことができた。	今後も計画策定の予定と連動して会議を開催していきたい。	B	○	○	○	○	○	○	健康課	
66	42	2	食育コーディネータの設置	食育に関する関係機関等との連携を促進する。	令和4年度活動状況：5件 昨年に引き続き、コロナ禍を反映している せいか、依頼が少なかった。	今後も引き続き継続していく。	B	令和3年度活動状況：3件 昨年に引き続き、コロナ禍を反映しているせいか、依 頼が少なかった。	今後も引き続き継続していく。	C	○	○	○	○	○	○	健康課	
67	42	3	食育推進検討委員会	市の食育推進事業の円滑な推進を図るため、関係課による食育推進検討委員会を開催する。	食育推進計画の進捗状況調査について書面開催を1回実施。	計画策定までに時間のある時は、今年度の方法で開催してもいいと思う。	B	食育推進計画の進捗状況調査について書面開催を1回実施。	来年度も同様に開催したい。	B	○	○	○	○	○	○	健康課	
68	42	4	大学等との連携推進	若年層に対する対策及び食育に関する実態等の継続的な研究推進のため、大学等との食育推進事業の連携を推進する。	令和4年度についても以前作成したものを成 人式で750部配布した。	令和5年度に東京都多摩府中保健所主催の北多摩南部圏域栄養・食生活ネットワーク会議（保健所、学識経験者、6市健康管轄課、関係施設職員）において若者向けの栄養パンフレットを作成する予定なのでそちらを配布する予定。	B	令和5年度についても以前作成したものを成人式で750部配布した。	令和6年度については、令和5年度東京都多摩府中保健所主催の北多摩南部圏域栄養・食生活ネットワーク会議（保健所、学識経験者、6市健康管轄課、関係施設職員）において若者向けの栄養パンフレットを作成する予定なのでそちらを配布する予定。	B	○	○	○	○	○	○	健康課	